

うづぐすえ

平成29年 9月

発行：東北文教大学 地域連携

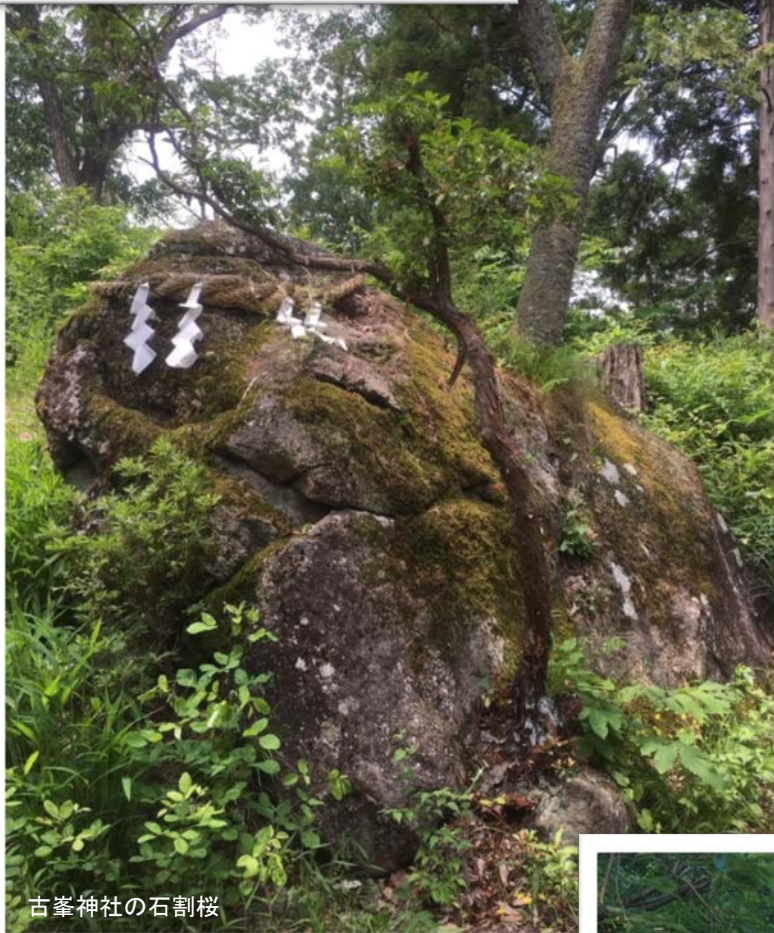
ボランティアセンター

東北文教大学・南山形地区創生プロジェクト委員会

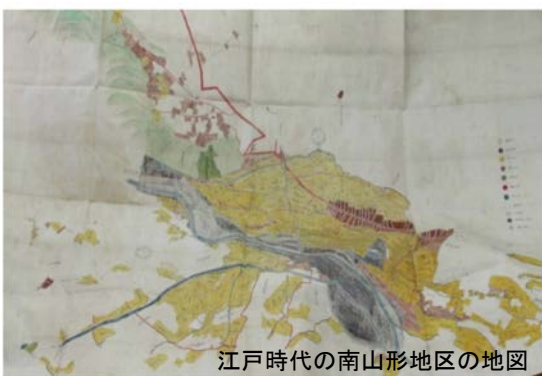
まだまだあるぞ！ 山形の宝



円龍寺の七不思議の一つ(おかぐら石)



古峯神社の石割桜



江戸時代の南山形地区の地図



小松原の窯跡から発掘された出土品



狼石(周囲が21mにも及ぶ巨大な岩石)

平成 28 年 度 の 活 動 成 果

- 実践プラン 1 片谷地一本杉、須川埋没林の看板作成！周遊コース作成！
- 実践プラン 2 南山形地区ガイドマップ第1弾「自然・歴史まるぐマップ」完成！
- 実践プラン 3 DVD文化編「南山形文化探訪 おもしろえがらみでけろず〜」完成！
- 実践プラン 4 南山形地区再発見、全5講座開設！
- 実践プラン 5 谷柏田植踊復活！演目「お正月」お披露目！

昨年度につきましては、皆さまのお力添えにより、全実践プランほぼ計画通りに実行することができました。また、今年度も新たな課題に向かって各実践プラン動き出しております。今回「うづぐすえ」第5号では、4月～8月までの活動の様子をお届け致します。

実践プラン1 「2万年の歩みを刻む南山形を知る・楽しむ」活動 実践プラン2 「南山形地区ガイドマップ作成」活動

実践プラン1と2では、次年度以降ツアーを開始できることを目指して、ガイドスタッフの養成やコースの見直し、ガイドマップの改良に努めています。右の写真は、ガイドスタッフの養成講座を開いた際の様子です。3回の講座を実施し、横沢さん、吉田さん、三宅さん、小笠原さん、佐竹さん、渡辺さんの地域の方々が講師を勤めて下さいました。写真にある大きな地図は、



約100年以上前の江戸時代の南山形地区で、古くなった地図を保存するために東北芸術工科大学に依頼して復元していただいたものだそうです。現在は黒沢生活改善センターに保管されており、渡辺小太郎さんが持ってきて下さいました。南山形には、深い歴史と素晴らしい自然がまだまだ多く存在し、新たな発見と驚きの連続でした。

また、昨年度は、「自然・茂吉コース」、「いにしへの郷コース」、「歴史コース」の3つのコースを策定し、「自然・歴史まるぐマップ」を作成しましたが、今年度はコースの地点を新たに増やして、マップの内容をさらに充実させ、まるぐマップ第2弾の作成を目標に活動しております。下の写真は、学生と地域の方と教員と共に、改良したコースを実際に周り、距離や時間を計測したり、資料収集をしたりしている様子です。まるぐマップを実際に使いながらコースを周ってみると、様々な今後の課題も見えてきました。特に、表紙にもある周囲21mの巨大な狼石は、探すまでに1時間以上かかり、さらに獣道を分け入らなければならず、非常に大変な思いをしました。



実践プラン3 DVD「南山形地区物語（仮称）」作成・上映活動



現在、実践プラン3は、28年度に作成しましたDVD『南山形文化探訪』の続編となる「歴史編」と「自然編」の撮影中です。29年度中に発行予定である「歴史編」には、2万7千年前の針葉樹の生きた化石・谷柏「埋没林」や片谷地荒屋敷の「土器」など今も南山形に残る歴史や文化遺産を収録する予定です。大まかなストーリーとしては、「古代～中世～近世～現代」と時代毎に南山形の歴史を紹介していくことになりそうです。

また、30年度に発行予定の「自然編」の撮影も同時に進めており、田植え（5月）やさくらんぼ狩り（6月）などの撮影を行ってきました。今後は、ブドウの品種のひとつである「シャインマスカット」の収穫をしているところなどを撮影する予定です。

DVDに関するご意見、ご要望等ございましたら、ぜひ話をお聞かせください。よろしくお願いいたします。

実践プラン5 「谷柏田植踊」（20数年中断中）の復活・継承運動

今年度に入ってから、前年度までの田植踊り有志学生団体は、「民俗芸能サークル『舞』」という名で自治会同好会として認められ、谷柏田植踊保存会の地域の方々と共に復活・継承活動に励んでいます。その新しい組織に加入した学生8名（2年生）は、毎週火曜日午後5時30分から331教室において田植踊りの練習を続けています。（新入部員随時募集中です）

今年度初めての外部公演は、「日本一さくらんぼまつり」の第一日目6月17日（土）に行われた「ふるさと芸能のつどい」でした。山形市七日町通りの野外ステージ2か所で、第1演目

「お正月」を披露してきました。新しいメンバーでの初披露でしたので、若干の緊張もありましたが、堂々の発表に大きな拍手をいただき、今年度も地域の方々との合同練習の成果を示すことができたと思います。その後は、9月23日（土）東根市のタントクルセンターで行われた「Look forエブリィ伝承祭」に出演させていただきました。かの有名な「盛岡さんさ踊り」との共演でした。この公演では第2演目「思う人」の初披露となりました。

さらに今後は、10月8日（日）東北文教祭、10月15日（日）南山形商工会創立50周年記念祝賀会、10月29日（日）南山形地区文化祭に出演させていただく予定です。昨年度に引き続きまして、復活後間もなく多くの実演する機会をいただいておりますことを大変嬉しく思います。今後も谷柏田植踊保存会と民俗芸能サークル「舞」とで協力し合い、連携しながら復活・継承活動に努めていきたいと思っています。



第1回 奈良・平安の窯跡－南山形の発掘調査から－ 伊藤 邦弘 氏

6月17日、「奈良・平安の窯跡」の講演会が開催されました。今から遡ること約1300年、8世紀の昔、南山形の地は、良質の粘土と燃料となる木材と豊かな水に恵まれ、最先端の窯業技術による瓦の制作がなされていたことは、注目に値することです。瓦は役所や寺院などの特別な建造物に使用されたものであり、山形の地に重要な施設が存在したことが伺えます。特別展示された約30数点の貴重な須恵器の出土品を実際に手に取りながら、51名の参加者は、古代の人々の想像力と卓越した技術に感嘆していました。



第2回 氷河期の埋没林をいかに保存するか 山野井 徹氏 平塚 幸人氏



8月20日（日）、東北文教大学を会場に第2回講座が行われました。今回は、去年の埋没林の見学研修を受けて「氷河期の埋没林をいかに保存するか」をテーマにシンポジウムが行われました。山形大学名誉教授の山野井徹氏と地底の森ミュージアム学芸室長の平塚幸人氏の基調提案のあと、須藤善友委員長の進行のもと鼎談が行われました。そこでは、保存活動に向けて、地域の具体的な取り組みや運動の高まりが必要であることが確認されました。43名の参加者からも多くの質問が出され、時間をオーバーするほどの充実した講座となりました。ありがとうございました。

講 座	講 師	日時・会場
第1回 奈良・平安の窯跡 －南山形の発掘調査から－	伊藤 邦弘 氏 （山形県埋蔵文化センター）	6月17日（土） 終了しました 13:30～15:00（無料） 南山形コミュニティセンター
第2回 シンポジウム 氷河期の埋没林をいかに 保存するか	山野井 徹 氏 （山形大学名誉教授） 平塚 幸人 氏 （仙台市富沢遺跡保存館学芸員） 司会：須藤 善友 氏 （本プロジェクト委員長）	8月20日（日） 終了しました 13:30～15:00（無料） 東北文教大学
第3回 シンポジウム 南山形の民俗と高瀬助次郎 を語る	武田 清一郎 氏 （最上川中流土地改良区理事長） 佐藤 晃 氏 （東北文教大学短期大学部 教授） 司会：市村 幸夫 氏 （村山民俗学会会員）	10月22日（日） 13:30～15:00（無料） 東北文教大学

【お申し込み方法】

「希望される講座名」・「お名前」・「連絡先電話番号」を次のいずれかの方法でお申込み下さい。

【お申込み先】

東北文教大学「未来に伝える山形の宝」事務局

①電話の場合 688-2298

②FAXの場合 688-6438

③Eメールの場合 soumu@t-bunkyo.ac.jp

今回も情報誌「うづぐすえ」をお手に取ってご覧いただき、ありがとうございます。プロジェクトがスタートし、今年で2年目となりますが、今年度も地域と大学とが力を合わせて、各実践プラン精力的に活動していきたいと思っております。次回号も各実践プランの進捗状況等をお届け致します。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

平成29年9月 東北文教大学 地域・ボランティアセンター情報誌担当